

教科	理科	学年	第3学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生き物をさがそう	4	身の回りの様々な生物を比較しながらその特徴を調べる活動を通して、生物の姿や生物と環境との関わりについての理解を図るとともに、差異点や共通点を基に問題を見いだす力や、生物を愛護する態度を育成することができるようにする。	○身の回りの生物のようすを、虫眼鏡などを正しく扱いながら調べ、分かりやすく記録している。 ○生物は、色、形、大きさなど、姿に違いがあることを理解している。	○身の回りの生物に進んで関わり、他者と関わりながら生物を見付けようとしている。 ○身の回りの生物について、そのようすや周辺的环境に着目して比較し、差異点や共通点をもとに考察し、自分の考えを表現している。	○身の回りの生物に進んで関わり、他者と関わりながら生物を見付けようとしている。
たねをまこう	4	植物の種をまき、世話をしながら育てていく中で、植物の成長の過程や体のつくりを比較しながら調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察に関する技能を身につけるとともに、差異点や共通点を基に、植物の育ち方や体のつくりについての問題を見いだす力や植物を愛護しようとする態度を育成することができるようにする。	○種のまき方を知り、正しく種をまいている。 ○植物の栽培をしながら、虫眼鏡や紙テープなどを正しく扱い、その成長をわかりやすく記録している。	○植物どうしを比較して、差異点や共通点をもとに、植物はどのように育つのか考え、表現している。	○植物の育ちについて進んで関わり、他者と関わりながら調べようとしている。

令和7年度 評価規準

学校名:江戸川区立船堀小学校

チョウを育てよう	9	チョウの育ち方や体のつくりに興味をもち、見いだした問題を追究する活動を通して、育ち方には一定の順序があることと体のつくりの特徴を捉えることができるようにするとともに、生命を尊重する態度を養うことができるようにする。	○チョウの卵や幼虫を飼育しながら、虫眼鏡などを正しく扱い、その成長をわかりやすく記録している。 ○チョウの育ち方には一定の順序があることを理解している。 ○チョウの成虫の体のつくりについて、虫眼鏡などを正しく扱いながら調べ、わかりやすく記録している。 ○チョウの成虫の体は、頭、胸および腹からできていることを理解している。	○チョウの卵や幼虫がどのように育つのか、観察結果をもとに考え、表現している。 ○チョウが卵から成虫までどのように育つのか、観察結果をもとに考え、表現している。	○チョウについて進んで関わり、他者と関わりながら調べようとしている。 ○チョウの育ちや成虫の体のつくりについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
植物の育ちとつくり	3	植物の世話をしながら育ていく中で、植物の育ちや体のつくりを比較しながら調べる活動を通して、差異点や共通点を基に植物の育ちや体のつくりについての問題を見だし、表現するとともに、植物の成長による体の変化や植物は根・茎・葉からできているという体のつくりとそれぞれの特徴について捉える。	○植物の育ちについて、虫眼鏡や紙テープなどを正しく扱い、その成長をわかりやすく記録している。 ○植物の体は、根、茎および葉からできていることを理解している。	○植物の体のつくりについて、複数の種類を比較して、差異点や共通点をもとに考察し、自分の考えを表現している。	○植物の育ちについて進んで関わり、他者と関わりながら調べようとしている。(行動観察・発言)

令和7年度 評価規準

学校名:江戸川区立船堀小学校

風とゴムの力のはたらき	9	風やゴムで動くものをつくったり動かしたりする活動を通して、風やゴムの力をはたらかせたときの現象の違いを比較する能力を育てるとともに、風やゴムの力でものを動かせることの理解を図り、風やゴムのはたらきについての考えをもつことができるようにする。	○風の力のはたらきについて、送風機などを正しく扱いながら調べ、結果をわかりやすく記録している。 ○風の力は、ものを動かすことができること、また、風の力の大きさを変えると、ものが動くようすも変わることを理解している。 ○ゴムの力のはたらきについて、器具を正しく扱いながら調べ、結果をわかりやすく記録している。 ○ゴムの力は、ものを動かすことができること、また、ゴムの力の大きさを変えると、ものが動くようすも変わることを理解している。	○風の強さと車が動く距離の関係について、問題を見いだしている。 ○風の力のはたらきについて、実験で得られた結果を比較して考察し、自分の考えを表現している。 ○ゴムの力のはたらきについて、実験で得られた結果を比較して考察し、自分の考えを表現している。	○風やゴムの力をはたらかせたときの現象に進んで関わり、他者と関わりながら調べようとしている。 ○風とゴムの力のはたらきについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
花のかんさつ	1	植物の花がさいているようすに興味・関心をもち、植物の育ちを前の観察記録と比較したり、他の植物と比較したりしながら調べる活動を通して、差異点や共通点を基に植物の育ちについての問題を見だし、表現するとともに、植物の成長による体の変化や花がさいているようすについて捉える。	○植物の育ちや花のようすについて、虫眼鏡などを正しく扱い、その成長をわかりやすく記録している。		○植物の育ちや花のようすについて進んで関わり、他者と関わりながら調べようとしている。

令和7年度 評価規準

学校名：江戸川区立船堀小学校

こん虫のかんさつ	5	身の回りのいろいろな昆虫を比較する活動を通して、それぞれ色、形、大きさなどの姿が違ふこと、食べ物やすみかなどの周辺の環境とかかわって生きていることをとらえるようにする。また、昆虫の体のつくりや育ちには一定のきまりがあるという考えをもつことができるようにする。	○生物は、周辺の環境と関わって生きていることを理解している。 ○昆虫の成虫の体は頭、胸および腹からできていることを理解している。 ○昆虫の育ち方には一定の順序があることを理解している。	○身の回りの昆虫と環境との関わりについて、複数の昆虫を比較して考察し、自分の考えを表現している。 ○昆虫の育ち方について、複数の昆虫を比較して考察し、自分の考えを表現している。	○身の回りの昆虫について進んで関わり、他者と関わりながら調べようとしている。 ○身の回りの昆虫について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
植物の一生	4	植物の実ができたようすに興味・関心をもち、植物の育ちを前の観察記録と比較したり、他の植物と比較したりしながら植物の一生をまとめる活動を通して、植物の育ち方には、たねから発芽し、子葉が出て、葉が茂り、花が咲き、実ができた後に枯死するという植物の成長の順序があることを捉えるとともに、生物を愛護する態度を育てる。	○植物の育ち方には一定の順序があることを理解している。	○植物の育ち方について、複数の植物を比較して、差異点や共通点をもとに考察し、自分の考えを表現している。	○植物の育ちや実のようすについて進んで関わり、他者と関わりながら調べようとしている。 ○植物について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。

かげと太陽	9	日なたと日陰の様子に着目して、それらを比較しながら、太陽の位置と地面の様子を調べる活動を通して、方位磁針や温度計を用いた観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に日陰の位置や日なたと日陰の地面の样子の差異点を基に、問題を見いだす力や主体的に問題解決しようとする態度を養い、太陽と地面の様子との関係についての考えをもつことができるようにする。	○日陰は太陽の光を遮るとできることを理解している。 ○影と太陽の位置について、方位磁針や遮光板などを正しく扱って調べ、結果をわかりやすく記録している。 ○日陰の位置は、太陽の位置の変化によって変わることを理解している。 ○温度計を正しく扱って、日なたと日陰の地面の温度を調べ、結果をわかりやすく記録している。 ○地面は太陽によって暖められ、日なたと日陰では暖かさや湿り気に違いがあることを理解している。	○時刻による日陰の位置の変化を比較して問題を見だし、自分の考えを表現している。 ○日なたと日陰の地面のようすを比較して問題を見だし、自分の考えを表現している。 ○日なたと日陰の地面について、実験で得られた結果を比較して考察し、自分の考えを表現している。	○太陽と地面のようすについて進んで関わり、他者と関わりながら調べようとしている。 ○太陽と地面のようすについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
-------	---	--	--	---	---

令和7年度 評価規準

学校名：江戸川区立船堀小学校

光のせいしつ	8	光を当てたときの明るさや暖かさに着目して、光の強さを変えたときの現象の違いを比較しながら、光の性質を調べる活動を通して、平面鏡や虫眼鏡を用いた観察、実験などに関する技能を身につけるとともに、主にはね返した日光の明るさや暖かさの差異点を基に、問題を見いだす力や主体的に問題解決しようとする態度を養い、光の性質についての考えをもつことができるようにする。	○日光は直進し、反射させることができることを理解している。 ○的の明るさや温度について、鏡や温度計などを正しく扱って調べ、結果をわかりやすく記録している。 ○日光は集めることができること、ものに日光を当てるとものの明るさや暖かさが変わることを理解している。 ○日光は集めることができること、ものに日光を当てるとものの明るさや暖かさが変わることを理解している。	○日光を重ねたときの実験で得られた結果を比較して考察し、自分の考えを表現している。 ○日光を集めたときについて、既習事項をもとに予想を発想し、自分の考えを表現している。	○光の性質について進んで関わり、他者と関わりながら調べようとしている。 ○光の性質について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
電気で明かりをつけよう	7	乾電池、豆電球、ソケット、導線を使い、豆電球が点灯するつなぎ方と点灯しないつなぎ方とを比較したり、回路の一部にいろいろなものを入れて点灯するかどうかを調べたりし、見いだした問題を興味・関心をもって追究する活動を通して、電気の回路のつなぎ方や電気を通すものについての考えをもつことができるようにする。	○電気の回路について、乾電池や豆電球を正しく扱いながら調べ、結果をわかりやすく記録している。 ○電気を通すつなぎ方と通さないつなぎ方があることを理解している。 ○電気を通すものと通さないものがあることを理解している。	○明かりがつくときの実験で得られた結果を比較して考察し、自分の考えを表現している。 ○電気を通すものについて予想し、自分の考えを表現している。 ○電気を通すものの実験で得られた結果を比較して考察し、自分の考えを表現している。	○電気の回路について進んで関わり、他者と関わりながら調べようとしている。 ○電気の回路について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。

令和7年度 評価規準

学校名: 江戸川区立船堀小学校

じしゃくのふしぎ	8	身の回りの磁石の性質を利用した道具などから見いだした問題について、興味・関心をもって追究する活動を通して、磁石につくものとつかないものを表などに分類、整理しながら比較する能力を育てるとともに、それらについての理解を図り、磁石の性質についての考えをもつことができるようにする。	○磁石につくものについて、磁石などを正しく扱いながら調べ、その結果をわかりやすく記録している。 ○磁石に引きつけられるものと引きつけられないものがあることを理解している。 ○磁石の異極は引き合い、同極は退け合うことを理解している。 ○磁石に近づけると磁石になるものがあることを理解している。	○磁石につくものを、既習事項をもとに予想を発想し、自分の考えを表現している。 ○磁石につくものの実験で得られた結果を比較して考察し、自分の考えを表現している。 ○磁石についた鉄の実験で得られた結果を考察し、自分の考えを表現している。	○磁石の性質について進んで関わり、他者と関わりながら調べようとしている。 ○磁石の性質について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
音のせいしつ	6	トライアングルで音を出したりや糸電話で音を伝えたりする活動を通して、音を出したときの震え方の違いを比較する能力を育てるとともに、音の大小と震え方の関係への理解を図り、音の性質についての考えをもつことができるようにする。	○ものから音が出るとき、ものは震えていること、また、音の大きさが変わるときものの震え方が変わることを理解している。 ○糸電話を正しく扱いながら調べ、結果をわかりやすく記録している。 ○ものから音が伝わる時、ものは震えていることを理解している。	○音が出ているときのもののようすについて問題を見だし、自分の考えを表現している。 ○音が出ているときの実験で得られた結果を比較して考察し、自分の考えを表現している。	○音の性質について進んで関わり、他者と関わりながら調べようとしている。 ○音の性質について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
ものと重さ	7	物の形や体積に着目して、物の重さを比較しながら、物の性質を調べる活動を通して、自動上皿ばかりを用いた観察、実験などに関する技能を身につけるとともに、主にものの形や種類による重さの差異点や共通点を基に、問題を見いだす力や主体的に問題解決しようとする態度を養い、物の性質についての考えをもつことができるようにする。	○自動上皿ばかりを正しく扱って調べ、結果をわかりやすく記録している。 ○ものは、形が変わっても重さは変わらないことを理解している。 ○ものは、体積が同じでも重さは違うことがあることを理解している。	○ものの形を変えたときの重さについて問題を見だし、自分の考えを表現している。 ○ものの体積と重さの実験で得られた結果を比較して考察し、自分の考えを表現している。	○ものと重さについて進んで関わり、他者と関わりながら調べようとしている。 ○物と重さについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。

令和7年度 評価規準

学校名：江戸川区立船堀小学校

おもちゃランド	2	風とゴムの力のはたらき，光と音の性質，乾電池や豆電球，磁石，ものの体積と重さの関係などを利用したおもちゃづくりを通して，学習したことについて興味・関心をもって追究する能力を育てるようにする。	○器具を正しく扱いながらおもちゃを製作している。	○これまで学習したことを意識して，おもちゃの計画を立てている。（行動観察・記録分析）	○これまで学習したことを生かして，他者と関わりながらおもちゃを製作しようとしている。
---------	---	---	--------------------------	--	--